

第5回 まちづくりワークショップ《2050年の夢づくり会議》ニュース

◆ 次 第 ◆

(開会)

あいさつ

1. オリエンテーション
 - ・ 全体の進め方 等
2. グループワーク
 - ・ 各班で一つにしぼった「明日からできるアクション」の内容確認と具体化、仕上げ
3. 発表

(閉会)

日時:平成 27 年 1 月 18 日(日)

14:00~16:00

場所:四條畷市役所 東別館201会議室



当日の会場の様子

第5回のワークショップには、20人の市民の方々に出席していただきました。

ワークショップの概要

◆オリエンテーション

○本日のテーマ「市民力で明日からできるアクションを考えよう!③」の説明を行いました。

◆グループワーク

○5つのテーブルにわかれて、各班で一つにしぼった「明日からできるアクション」の確認を行いました。

○明日からできるアクションについて、「①めざすこと」「②やるべきこと」「③まちづくり資源(ヒト・モノ・コト)」の3つをチェックポイントとして具体化を進めました。

◆発表

○各班から本日の内容を発表してもらいました。

次回の進め方

- ①各班にわかれて、プレゼンテーション用の資料を作成します。
- ②発表のリハーサルを行います。

◆次回(第6回)の予定

日時:2月20日(金)18:30~

※発表準備とリハーサルを行います。

場所:四條畷市役所 東別館201会議室

内容:「ワークショップの成果を市長等に伝えよう!発表準備」

発行:2050年の夢づくり会議事務局(四條畷市政策企画部 企画調整課)

〒575-8501 四條畷市中野本町1番1号

電話 072-877-2121 内線:261(平日 8:45~17:15)

0743-71-0330 ※田原方面にお住まいの方

E-mail kikaku@city.shijonawate.lg.jp

各班の検討内容を紹介します！

| 班 | タイトル | 検討内容のポイント |
|--------|-------------------------|---|
| A | (検討中) | <p>わたしたち:声かけをする(警察等との連携)</p> <p style="text-align: center;">町内会と協力する</p> <p style="text-align: center;">区長会の協力を得る!!</p> <p>事業者:行政・事業者全員です</p> <p style="text-align: center;">犬のフンが多く見られるけど罰金で取締りをする</p> <p>行政:人の目が行き届くような取組みをする</p> |
| B | あつまれ!!四條躰 | <p>●やるべきこと:インターネットを使って市民自らが情報発信</p> <p>●期間を決めて行うこと:まず人を集める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年後に情報発信スタート ・10年後、3,000人規模のイベントの開催 |
| C ① | 生き抜く! | <ul style="list-style-type: none"> ・学校で避難訓練 具体的なマニュアル ・自主防災組織で年に1回マップづくりと避難訓練 ・自治会単位での自主防災組織を全地区に作る ・自主防災ネットワーク会が開催を促す ・やったことがあるような状態にする 習うより慣れる ・避難行動をすぐにとる 言われたら聞く 守る ・災害に対する講習会を開催する(自治会ごとで実施) |
| C ② | 今風のおせっかい サポータープロジェクト | <p>1. 講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者から組織づくり ・どんな講座:例)傾聴講座、見守り講座、プロジェクト理解の講座、情報発信の工夫 <p>2. 募集組織</p> <p>3. 世間話・相談 どうやって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員とチームを組んで訪問、見守り(守秘義務あり) ・災害時要配慮者情報を活用 公的組織にする ・ポイント 参加しやすい工夫、しくみ <p>今風のお互い様の工夫</p> <p>今風のおせっかいポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の工夫:回覧板見てない人、若い人 |
| D | やってみよう! やってごらん♪ | <p>●期間を決めて行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んでいる校区の話聞いてみる ・現在行われている内容を調べる ・学校にニーズを聞いてみる ・子どもに夢ややってみたいことをきく ・ボランティアしてくれる人が何をできるか集約する ・自分の得意な知識などのボランティア登録 ・ボランティア登録の精査 ・すでに登録されているボランティア名簿の宣伝 ・モデルづくりやモデル校づくり ・地域に関わるきっかけづくり |